

平成 27 年度 委員会活動報告

平成 27 年 8 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日

学術委員会

■構成メンバー (◎委員長、○副委員長、五十音順)

- ◎岡田 彩子 (兵庫県立大学看護学部)
- 西田 和美 (国立病院機構京都医療センター)
- 稲垣 美紀 (摂南大学看護学部)
- 瀬戸 初江 (東北医科薬科大学病院)
- 篠持 知恵子 (大阪府立大学)
- 前田 靖子 (兵庫県看護協会)
- 三浦 稚郁子 (榊原記念病院)

■活動の概要

平成 27 年度は計 3 回の教育セミナーを開催するとともに教育セミナーの運営体制の整備と強化を図るため、以下の内容を実施した。

- ・セミナー開催の今後の方向性の検討
- ・開催規模の拡大
- ・基盤となる教育セミナー開催に関する内規の作成
- ・教育セミナーワーキングメンバーの増員

【第 25 回教育セミナー(中級編)】

テーマ:「明日から実践活用できる!」シリーズ第 2 弾

日時:平成 27 年 11 月 8 日(土) 10:00～15:30

場所:大阪府立大学 I-site なんば 2 階

参加人数:会員 37 名、非会員 67 名 計 104 名

【第 26 回教育セミナー(中級編)】

テーマ:「循環器こんなときどうする?」

日時:平成 28 年 3 月 6 日(日) 9:45～16:10

場所:一橋大学 中会議場

参加人数:会員 21 名 非会員 156 名 計 177 名

【第 27 回教育セミナー(初級編)】

テーマ:「循環器疾患あれこれ! 苦手意識克服し実践に役立てよう」

日時:平成 28 年 5 月 14 日(土) 9:50～15:20

場所:情報・産業プラザ アエル(仙台)

参加人数:会員 11 名、非会員 80 名 計 91 名

(以上)

(報告者:岡田 彩子)

学会誌編集委員会

■構成メンバー (◎委員長、○副委員長、五十音順)

- ◎眞嶋 朋子 (千葉大学大学院看護学研究科)
- 瀬戸 奈津子 (関西医科大学看護学部設置準備室)
- 大貫 周子 (慶應義塾大学医学部)
- 落合 亮太 (横浜市立大学医学部看護学科)

- 小泉 雅子 (東京女子医科大学病院看護部)
- 高谷 真由美 (順天堂大学医療看護学部)
- 原 美弥子 (千葉科学大学看護学部)
- 福田 美和子 (東邦大学看護学部看護学科)
- 安井 大輔 (東京医療保健大学医療保健学部)

■活動の概要

【第 1 回委員会】

日時:平成 27 年 8 月 30 日(日) 13:30～17:00 品川 TKP センター

1. 学会誌第 11 巻第 1 号の校正

出席した委員全員で分担しながら第 11 巻第 1 号の校正を行った。体裁の修正以外にも、投稿者に確認しなければいけない事項も含んでおり、改めて連絡を取った後に修正が必要である。

2. 学会誌第 11 巻 2 号の学術集会での発表内容について

10 月に行われる学術集会プログラムの中で、どの企画に学会誌への原稿依頼をするか検討した。候補として、会長講演、シンポジウム、パネルディスカッションが挙げられたが、企画数が多いことから、文字数を 2,000 字以内とした。また、これまでは学術集会後に依頼を行っていたが、次年度からは事前に依頼することが確認された。

3. 学会誌第 12 巻第 1 号編集後記担当者について

安井が担当することが決定した。また、編集後記の送り先や文字数、記載にあたっての学会誌内容が不明であることが課題として挙げられた。

4. 電子ジャーナル化について

電子ジャーナル化を予てより検討していたが、コストや人員の問題が生じることが予測されることから、導入には慎重にならざるをえない。他学会の動向をみながら、今後の検討事項としていく。また、電子ジャーナル化は困難であっても、投稿システムのみでも電子化してはどうかという意見が挙げられた。

【第 2 回委員会】

日時:平成 27 年 10 月 17 日(土) 18:00～19:10

場所:両国国際ファッションセンター

1. 理事会報告および各種規定に関する検討

- 1) 投稿規程:「6. 利益相反」に関して赤字の箇所を加筆し、理事会に提案した。添付文書との整合性および利益相反がない場合にも添付するか否かなどに関する検討が必要であるため、保留となった。
- 2) 論文投稿時チェックリスト、投稿申込書も、1)と同様の理由で保留となった。チェックリストは「利益相反報告書」と記載されていたため、「利益相反申告書」で統一した。
- 3) 専任査読委員に関する細則:「(選定基準)第 1 条(3)」

の「査読のある雑誌、学術集会誌」から「学術集会誌」を削除した。「専任査読委員カード」からも同様の文言を削除することとなった。

4) 査読ガイドライン：

①円滑な査読の遂行を目的として査読期間を再度明記し、初めての査読者でも容易に理解できるように配慮する。

②これまで、査読を受けるか否かの返答期間が3週間と長期間の設定だったため、1週間以内に短縮することとなった。

③査読ガイドラインの見直しは、委員全員が参加するメール会議で遂行することとなった。

2. 法人化後の予算編成の報告および関連する検討

1) 本委員会の予算：予算の期間は、法人化にともない毎年8月から翌年7月までの1年間となった。異議なく、本委員会には例年通り300万の予算が確保された。

2) 電子ジャーナル化・WEBアンケート：法人化にともなう優先的に遂行すべき案件

会員管理システムの導入などがあるため、電子査読システムを含めた電子ジャーナル化を積極的に推進するのは、予算が安定したら再検討することとなった。

ただし、本年度の予算で実施可能なWEBアンケートについては、進める方針とする。

3. 学会誌第11巻第1号の校正・編集作業の振り返り

1) 英文タイトルの妥当性：前回の編集作業の際、2名の投稿者が問題となった。ネイティブチェックを経ても完全な誤り・適切な判断が困難であり、編集長とメディカルドゥ社の間で、数回にわたり調整を図る必要性が生じた。また、査読者が指摘して修正した箇所を今回再度元に戻すように指摘されるという案件もあり、これらの情報について共有された。

2) 今後の編集作業：負担軽減と効率化を図るべくメディカルドゥ社に来ていただくことで調整を進めることとなった。

4. 学会誌第11巻2号の発行計画

1) 掲載する学術集会のプログラム項目：「会長講演」「シンポジウム」「パネルディスカッション」の該当者に依頼をする。また、次年度からは事前に依頼することが再確認された。

【第3回委員会】

日時：平成28年2月28日（日）13:30～16:00

場所：品川TKPセンター

1. 担当者変更について

大学生協担当者が変更となった。大学生協は会員管理を行う。編集・校正作業はメディカルドゥ社が行う。

2. 投稿状況

資料の通り報告された。今後、投稿数実績によって、電子投稿システム導入の可否を審議する予定。編集委員会側の管理上の問題のみでなく、投稿者の便宜を図る意味でも電子投稿システム導入を進めていく方針であることが確認された。

3. 理事会報告、および各種規定に関する検討

編集委員会のウェブアンケートは平成27年度予算で実施するか、平成28年度予算で実施するかは、今後の理事会での審議結果を考慮して検討する。

4. 専任査読者任期期間延長の手続きについて

専任査読者は任期を平成28年3月31日と伝達されているため、理事会と相談していく。既存の専任査読者に10月の社員総会まで期間延長を依頼する方向で検討する。

5. 学会誌第11巻第2号の校正

編集委員、メディカルドゥ社、大学生協担当でダブルチェックを行った。奥付の発行日は今後、編集委員長から確認していただくことになった。

6. 学会誌第12巻第1号発行計画

平成28年度9月中旬から下旬までに発行予定。編集後記は落合が担当予定。現在投稿中の原稿で、修正原稿提出締め切りを過ぎているものについては、メディカルドゥ社からリマインドメールを出していただく。

以上

(報告者：眞嶋 朋子)

政策・診療報酬委員会

■構成メンバー（◎委員長、○副委員長、五十音順）

◎山内 英樹（東京女子医科大学看護学部）

○宇都宮 明美（聖路加国際大学）

遠藤 美代子（東京大学医学部附属病院）

多留 ちえみ（神戸大学大学院保健学研究科）

三浦 英恵（東京医科歯科大学）

山下 亮子（大阪大学大学院医学系研究科）

■活動の概要

平成27年度は、委員会を3回、メール会議を適宜開催し、以下の議案について検討を行った。

【第1回委員会】

日時：平成27年8月28日（火）14:00～15:20

場所：タリーズコーヒー東京駅

出席者：山内、宇都宮、多留、三浦

議事：

1. 第12回学術集会の交流集会について

以下の通り開催することを確認した。

日時：平成27年10月17日（土）10:00～11:00

場所：第4会場（国際ファッションセンター11階）

司会：山内、多留 調査および交流集会の目的の説明

演者：宇都宮 慢性心不全患者の急性増悪予防に関する実態調査結果について

辻井 慢性心不全看護認定看護師の実践活動について

山内 診療報酬制度の概要について

全体ディスカッション

2. 慢性心不全患者の緩和ケアへの学会としての取り組みについて

【第2回委員会】

日時：平成27年10月17日(土)17:30～18:00

場所：国際ファッションセンター

出席者：山内、宇都宮、多留、三浦、山下

議事：

1. 交流集会の評価と今後の課題について

【第3回委員会】

日時：平成28年3月9日(水)17:00～19:00

場所：コルマ京橋ビル3階 B3 会議室

出席者：山内、多留、三浦

議事：

1. 平成28年度診療報酬改定をふまえて次期診療報酬改定に向けた検討

2. 慢性心不全患者の緩和ケアに関する情報収集と発信について

【メール会議】

下記の議事について、適宜メール会議を開催した。

議事：

1. 慢性心不全患者の急性増悪予防に関する実態調査結果の学会ホームページ公開について

2. 平成30年度診療報酬改定に向けた検討

【関連会議などへの参加】

・看保連総会、情報交換会、看護技術検討委員会、診療報酬等あり方検討委員会

以上

(報告者：山内 英樹)

広報委員会

■構成メンバー (◎委員長、○副委員長、五十音順)

◎池亀 俊美 (聖路加国際病院看護管理室・QIセンター)

○宇都宮 明美 (聖路加国際大学)

佐藤 麻美 (心臓血管研究所附属病院)

高田 弥寿子 (国立循環器病研究センター)

中原 さちこ (福岡県済生会福岡総合病院)

■活動の概要

平成28年3月にホームページリニューアルWGを広報委員会下部組織として立ち上げた。委員構成は、広報委員会委員と齊藤奈緒 (総務副委員長、神戸大学大学院保健学研究科)、高圓恵理氏 (ゆみのハートクリニック、慢性心不全看護認定看護師) 2名とした。

1. ホームページのリニューアルについて

株式会社アカリデと契約し、ホームページの維持更新作業、およびホームページリニューアルに着手、平成28年8月アップ予定である。

2. ニュースレターについて

通算9号の作成、年1回以上HPに掲載する形で発行することが確認された。次号第9巻を作成、平成28年8月にHPにアップする予定である。内容は主に第12回日

本循環器看護学会学術集会とした。今年度より会員に郵送を廃止した。

3. ホームページの維持更新

以上

(報告者：池亀 俊美)

倫理委員会

■構成メンバー (◎委員長、○副委員長、五十音順)

◎三浦 稚郁子 (榊原記念病院)

○前田 靖子 (兵庫県看護協会)

清水 安子 (大阪大学大学院医学系研究科)

関根 由紀 (聖路加国際大学大学院)

■活動の概要

平成27年度の研究倫理申請は0件であった。その他、個人情報保護や倫理綱領に関する問題もなかった。

以上

(報告者：三浦 稚郁子)

国内交流委員会

■構成メンバー (◎委員長、五十音順)

◎池亀俊美 (聖路加国際病院看護管理室・QIセンター)

眞嶋朋子 (千葉大学大学院看護学研究科)

眞茅みゆき (北里大学看護学部)

■活動の概要

関連する国内団体、学会との共催セッションを適宜、メール会議にて検討、企画した。

1. 下記学会、団体からジョイントセッションを決定、実施予定である。

①STROKE2017 (第42回日本脳卒中学会総会/平成29年3月16～19日)との合同シンポジウム (企画・座長を田村綾子氏)

②第73回日本循環器心身医学会学術総会 (平成28年11月3日) (シンポジウム企画を眞茅みゆき氏に依頼)

③第81回日本循環器学会学術集会 (平成29年3月17～19日) 循環器領域における看護師の役割拡大を考える (案) 座長眞嶋朋子氏を推薦。

2. その他

・日本クリティカルケア看護学会とのHPの相互リンクを行った。

・日本集中治療医学会より後援を以下2件受けた：敗血症セミナー in 東京/世界敗血症デー2016。

・災害看護支援助成金公募をHPにアップした (平成28年7月)

以上

(報告者：池亀 俊美)

選挙管理委員会

■構成メンバー（◎委員長、○副委員長、五十音順）

- ◎伊藤 文代（国立病院機構大阪医療センター）
- 長家 智子（佐賀大学）
- 萩田 美穂子（京都光華女子大学）
- 中島 千春（聖路加国際病院）
- 菱田 千珠（国立循環器病研究センター）
- 藤原 恵子（国立病院機構あわら医療センター）
- 本杉 ふじえ（国立循環器病研究センター）

■活動の概要

1. 一般社団法人日本循環器看護学会代議員選挙と理事及び監事選挙について、選挙管理委員会規程に基づき実施した。

1) 選挙告示前に、対面理事会において、選挙に関する細則の確認を行った。

2) 代議員選挙実施後、対面理事会にて、新代議員 50 名の選出の合意事項を確認し、新代議員 50 名を決定した。

3) 新代議員 50 名から選出される理事及び監事の選挙において、1 名の氏名に誤字があり、投票のやり直しを行うこととなった。当該 1 名の新代議員には理事長からのお詫びと説明、新代議員 50 名には理事長と選挙管理委員長名で誤字の投票用紙を無効にする通知をメールで発信した。

4) 平成 28 年 7 月 20 日付で新代議員 50 名に対し、理事及び監事の選挙投票用紙を送付した。

5) 平成 28 年 8 月 15 日に理事および監事選挙に関わる開票作業を行い、理事 16 名と監事 2 名の候補者を理事会へ報告した。

2. 選挙管理委員会会議の開催

1) 平成 27 年 9 月 18 日、選挙に係る実施細則を確認し、理事会からの指摘事項について修正作業を行った。また、選挙スケジュールを見直し、必要書類を確認した。

2) 平成 28 年 1 月 22 日、選挙人、被選挙人リストの作成を行い、必要書類を作成した。

3) 平成 28 年 5 月 14 日、選挙に係る開票作業を行った。

4) 平成 28 年 6 月 25 日の対面理事会後、選挙に係る確認・決定事項をメールにて情報共有し、作業を進めた。

以上

（報告者：伊藤 文代）

○齊藤 奈緒（神戸大学大学院保健学研究科）

加賀谷 聡子（杏林大学保健学部）

■活動の概要

事務局の委託会社変更に必要な業務を実施し、平成 28 年 8 月 1 日付で事務局機能を新たな委託先である学会支援機構に移行する。また各委員会活動が円滑に運営されるよう連絡調整を行うとともに、HP や発送物を通じて会員への情報発信、会員獲得に関する事業を実施した。

以上

（報告者：眞茅 みゆき）

総務委員会

■構成メンバー（◎委員長、○副委員長、五十音順）

- ◎眞茅 みゆき（北里大学看護学部）